

# たのしい たのしい 船穂校♪

倉敷市立船穂小学校 横山文朗

## 参観日

火曜日は、参観日にご出席いただきありがとうございました。わたしも各学級の授業の様子を見て回りました。子どもたちが家の人のことを気にしながら、先生の話の聞いている様子を見て、長男が1年生の時のことを思い出しました。

「どうして、授業中ずっとおはじきで遊んどったん！！」正座をさせられた長男は何も言いません。「今日の参観日は道德だったんだけど、この子は、最初から最後までおはじきで遊んでいて先生の話のちっとも聞いてなかったの。あんたからも叱って！」事情もわからず叱るのもよくないと思って、「どうしたんなら。」と聞くと、言いにくそうに長男は話し出しました。「あのな、おはじきを持ってな、耳に近づけるとホワホワ～と音がするんで。」長男は、両手を耳につけたり離したりしてみせました。その様子がおかしくて思わず吹き出し、「それでも今日は参観日やで。お母さん仕事を休んで見に行ってくれたのに、授業中ずっとおはじきで遊んどったら、そりゃあ叱られるわ。」と言いました。しかし、家内の怒りはしばらく収まりませんでした。

ここからは、つくった話だけれど、母親は、「次の参観日は、先生の話のきちゃんと聞くんで。今度遊んでいたら承知しないよ！」と言い、子どもは「うん、今度ちゃんとする。」と言います。次の参観日は二月ほど先ですから、1年生の子がその日まで覚えているとは思えません。仮に覚えていたとしましょう。前のように正座をさせられ叱られてはかかないませんから、子どもは身じろぎひとつつないで先生の話の聞きます。ほめてもらえると思っていたら、母親はこう言います。「あんた先生の話は聞いてたけど、わかっと思ったん？ わかっているなら手をあげなさい。よっちゃんもかっちゃんも発表したでしょ。がんばりなさい。」子どもはまたかと思い、参観日がいやになってしまいます。

どの子も参観日に家の人に来てくれるのを楽しみにしています。舞い上がってしまったり、後ろばかり見たりするかもしれません。良くないことをしたときに叱ることは大切なことですが、結果だけをみて叱るのはあまり良い方法とは思えません。こんな方法はどうでしょう。

「今日の参観日、お母さん楽しみじゃわ！ しっかり先生の話の聞いてよ。お母さん、仕事を休んで行くんだから。」朝、食卓で自分の気持ちを子どもに伝えます。その日の朝のことでしたら、1年生でも多くの子が覚えています。「よく先生の話の聞いたな。えらいよ。今度は発表するところを見たいなあ。明日からがんばってね。」子どもだけでなく、大人もほめ言葉とともに期待をこめて改めるべきことと言われると、よしがんばろうと思えます。

長男も30歳を越え、後何年かすれば娘の参観日に行くようになるのだけれど、彼はあの時のことを覚えているのかな。そして、子どもが遊んでいたら、自分の母親と同じように叱るのかなあ。

